

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	青少年施策推進費										担当課	部課名	子ども青少年部 青少年課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	03	細目	001	説明	01	課等の長	加藤 淳一	電話	3851

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 7 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	青少年を取り巻く諸問題に対処するため、青少年関係機関との連絡調整を図り、青少年の指導育成等に対する総合的施策の樹立につき必要な重要事項の審議を行うとともに、青少年育成活動推進功労者の表彰等を行う。				
対象	1. 個人	市民			429,317 人
根拠法令等	法律等	地方青少年問題協議会法、藤沢市青少年問題協議会条例			
事業実施内容	青少年を取り巻く諸問題に対処するため、青少年問題協議会を開催し、調査・審議等を行った。また、青少年の健全育成に功績のあった方への表彰を行った。 ・青少年問題協議会の開催（全体会3回、専門部会4回） ・藤沢市青少年育成市民のつどいの開催（個人65名、団体1団体への表彰と講演会、参加者355名）				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 5,853 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報酬	957 千円	青少年問題協議会委員報酬
		報償費	81 千円	青少年育成活動推進功労者表彰記念品等
		役務費	324 千円	青少年問題協議会筆耕翻訳料
		負担金補助及び交付金	4,366 千円	青少年団体・育成団体支援助成金
その他	125 千円	経常旅費、課内事務用品等		
財源内訳	H30年度 支出済額 5,853 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ( )				
一般財源	5,853 千円			

### 3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.65
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.65

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	行政費用 A	12,662	7,707	7,952	12,047
	(1)現金を伴う支出 (千円)	10,279	8,067	7,947	12,117
	事業費(支出済額－②報酬合計)	3,068	1,532	1,487	5,853
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	7,211	6,535	6,460	6,264
	職員数(常勤 非常勤)	0.85   0.00	0.80   0.00	0.70   0.00	0.65   0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	6,856	6,208	6,169	5,959
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	355	327	291	305
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	2,383	-360	5	-70
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	2,383	-360	5	-70
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他 ( )	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	30.10   420,619	18.13   425,105	18.60   427,501	28.06   429,317	

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		青少年問題協議会において提言をまとめ、市長へ提出することができたが活動実績であり、具体的な成果となるには時間を要するため。							
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-	-	-	-	-	-	-	-

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	青少年問題協議会から収受した「提言」に対しての，具体的な施策展開
(2) (1)解決のための今後の取組	次期子ども子育て支援計画や公共施設再整備プランの策定，見直しに併せて提言内容の反映に向けての検討を行う。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	青少年行政に対する「提言」を取りまとめ，今後の政策展開や計画策定に向けた基礎資料とすることができた。一方で部内に設置されている他の審議会との役割を整理する中で，次年度以降当面の間休止とすることとした。	
今後の方針	事業の方向性	一部見直し
	藤沢市青少年問題協議会は平成30年度をもって休止とし，青少年を含む子ども・若者に関する審議を「藤沢市子ども・子育て会議」において，検討していくこととした。また，青少年育成活動推進功労者表彰については，藤沢市表彰及び教育文化貢献者感謝会表彰と対象者が重複することから廃止することとした。なお，青少年団体・青少年育成団体の支援と青少年の健全育成に関する周知活動は次年度も継続して実施していく。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
2	青少年育成の基本方針の企画・立案・進行管理に関すること	無	有		1
3	青少年問題協議会の運営に関すること	無	有	1	2
4	青少年育成活動推進功労者表彰の事務に関すること	無	有	1	1
5	市の表彰事務に関すること	無	無	1	1
6	県等の表彰事務に関すること	無	無	1	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	子ども青少年部	氏名	村井 みどり	確認日	2019/8/9
----	---------	----	--------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	青少年指導員活動費										担当課	部課名	子ども青少年部青少年課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	03	細目	002	説明	01	課等の長	加藤 淳一	電話	3851

## 1. 事業概要

事業開始年度	昭和 44 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	各地区青少年育成協会およびPTAからの推薦により県・市が委嘱した青少年指導員が、各地域や市全域において次の青少年の健全育成活動を行う。 ①青少年の体験活動②青少年団体の育成及び支援③青少年に望ましい地域づくりの推進④青少年に関する相談及び支援⑤青少年に関する調査及び情報提供⑥青少年の非行防止を図るための街頭指導						
対象	1. 個人	市民					429,317 人
根拠法令等	その他(要綱等) 神奈川県青少年保護育成条例, 藤沢市青少年指導員設置規則						
事業実施内容	青少年指導員協議会事業委託により、各事業の実施や地区における青少年の健全育成, 非行防止を進めた。 ・街頭指導活動(14地区月2回実施) ・JUMP UP U-20 WINTER CONCERT(参加人数12グループ, 57人, 観客数381人) ・研修会(全4回, 参加人数述べ421人) ・広報紙発行(年2回)						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: 藤沢市青少年指導員協議会) (委託等内容: 青少年の健全育成, 非行防止のための地区・部会・広報活動) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( ): <input type="checkbox"/> その他 ( )						

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 15,193 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		報酬	13,918 千円	青少年指導員報酬
		旅費	46 千円	研修・会議等旅費
		需用費	24 千円	印刷製本費
		委託料	1,205 千円	青少年指導員協議会事業業務委託
財源内訳	H30年度 支出済額 15,193 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金	400 千円	
その他( )				
一般財源	14,793 千円			

### 3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.74
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.74

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト 支出	行政費用 A	30,197	20,132	22,710	22,244			
	(1)現金を伴う支出(千円)	26,283	21,855	22,592	22,324			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	15,128	15,212	15,439	15,193			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	11,155	6,643	7,153	7,131			
	職員数(常勤 非常勤)	1.20 0.00	0.75 0.00	0.74 0.00	0.74 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	10,572	6,289	6,822	6,784			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	583	354	331	347			
	(2)現金を伴わない支出(千円)	3,914	-1,723	118	-80			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	3,914	-1,723	118	-80			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他( )	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	71.79	420,619	47.36	425,105	53.12	427,501	51.81	429,317

成果実績	指標名	青少年指導員活動月数(延べ)	目標	2,688	単位	月	2,688	単位	月	2,688	単位	月	2,688	単位	月
			実績	2,628	単位	月	2,676	単位	月	2,676	単位	月	2,676	単位	月
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由														
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			11,490.49			7,523.17			8,486.55			8,312.41			

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	青少年指導員について, 他市に比べ報酬額が高い実情を踏まえ, 支払金額について検討の必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	本市の青少年指導員は各地域において様々な活動や役割を担っており, 青少年育成における重要な協力者であることから, その活動内容を鑑みるとともに, 他市における青少年指導員の活動内容を考慮しつつ, 支払金額について検討する。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	青少年指導員の活動により, 地域における青少年の非行防止と健全育成活動の活性化を図ることができた。	
今後の方針	事業の方向性	見直し(検討中)
	地方自治法, 地方公務員法の改正に伴い, 次年度以降の青少年指導員の任用形態の整理検討を行う。また, 青少年指導員の報酬の支払い形態と支払い額についても検討を行う。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
22	青少年指導員の人事管理と青少年指導員協議会の運営に関すること	無	無	1	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	子ども青少年部	氏名	村井 みどり	確認日	2019/8/9
----	---------	----	--------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	非行防止推進活動費										担当課	部課名	子ども青少年部青少年課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	03	細目	002	説明	02	課等の長	加藤 淳一	電話	3851

## 1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務									
事業概要	駅周辺や公園、青少年が立ち寄る店舗などのパトロールによって、青少年への声かけ指導及び店舗側への協力依頼や改善指導などを行う。また、青少年の非行防止ポスター展を実施し、青少年自身に非行や問題行動について考えてもらうとともに、街頭キャンペーンや講演会「青少年にとってのよい環境を考えるつどい」を開催し、広く市民へ青少年問題の意識啓発を図る。															
対象	1. 個人 市民														429,317	人
根拠法令等	条例(県) 神奈川県青少年保護育成条例															
事業実施内容	キャンペーン、パトロール等事業の実施により青少年の非行防止及び社会環境の浄化を図った。 ・街頭指導活動(昼間実施回数980回,声掛け件数89件,夜間実施回数75回,声掛け件数1129件) ・街頭指導キャンペーン(全5回,参加人数述べ422名) ・夏期特別街頭指導パトロール(全8回,参加人数述べ416名,声掛け指導件数190件) ・青少年にとってのよい環境を考えるつどい(参加人数272人)															
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( : )															

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 11,219 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		報酬	9,709 千円	街頭指導員・特別街頭指導員報酬
		報償費	50 千円	講演会講師謝礼
		旅費	588 千円	街頭指導員通勤手当, 普通旅費
		需用費	872 千円	啓発用ポケットティッシュ・ウェットティッシュ・マスク等
財源内訳	H30年度 支出済額 11,219 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金	400 千円	
		その他( )		
一般財源	10,819 千円			

### 3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.74
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	3.50
合計	4.24

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト 支出	行政費用 A	22,324	19,362	18,486	18,270			
	(1)現金を伴う支出(千円)	19,941	19,554	18,368	18,350			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	4,950	4,779	4,608	4,104			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	14,991	14,775	13,760	14,246			
	職員数(常勤 非常勤)	0.75 2.90	0.75 2.90	0.74 2.36	0.74 3.50			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	6,504	6,289	6,822	6,784			
	②報酬合計(非常勤)	8,132	8,132	6,607	7,115			
	③退職金相当額	355	354	331	347			
	(2)現金を伴わない支出(千円)	2,383	-192	118	-80			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	2,383	-192	118	-80			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他( )	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	53.07	420,619	45.55	425,105	43.24	427,501	42.56	429,317

成果実績	指標名	街頭指導(昼間・夜間)声掛け件数	目標	2,200	単位	2,100	単位	2,050	単位	1,600	単位
			実績	2,224	単位	2,106	単位	1,683	単位	1,275	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			10,037.77	9,193.73	10,983.96	14,329.41					

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	スマートフォンなどの情報機器の発達とSNSトラブルといった青少年の行動様式の変化
(2) (1)解決のための今後の取組	各青少年育成団体と連携を密にとることにより, 情報の相互交換等を行う。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	青少年を犯罪や非行に関わらせない社会を目指すため, 地域・学校・家庭・警察・関係団体と連携し非行防止活動を実施することにより, 青少年の非行防止に寄与した。
今後の方針	<p>事業の方向性 <b>現状維持</b></p> <p>豊かな地域力・市民力を活かし非行防止活動のため, 社会全体で子どもたちを見守り育てる活動を継続していく必要がある。</p>

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
23	街頭指導に関すること	無	無	1	3
24	社会環境実態調査に関すること	無	無	1	
25	有害図書類区分陳列等調査の事務に関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	子ども青少年部	氏名	村井 みどり	確認日	2019/8/9
----	---------	----	--------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	少年の森事業費										担当課	部課名	子ども青少年部青少年課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	03	細目	003	説明	01	課等の長	加藤	電話	3851

## 1. 事業概要

事業開始年度	昭和 55 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	青少年健全育成の野外活動施設である藤沢市少年の森を整備するため、環境の整備及び用地の継続利用を図る。						
対象	1. 個人	18歳以下の青少年及び青少年育成者 (2019. 3. 31現在)			74,631 人		
根拠法令等	条例 (市)	藤沢市少年の森条例, 藤沢市少年の森条例施行規則					
事業実施内容	施設の環境整備及び用地の継続利用を図った。 ・園内の修繕 ・森林保険 ・AED設置, 土地賃借料の支払い						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( : )						

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 15,222 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	671 千円	施設修繕費
		役員費	473 千円	火災保険料
		使用料及び賃借料	14,078 千円	AED賃借料, 土地賃借料
財源内訳	H30年度 支出済額 15,222 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ( )		
一般財源	15,222 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.39
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.39

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	行政費用 A	23,191	21,646	20,612	20,419
	(1)現金を伴う支出 (千円)	20,020	20,022	19,273	18,980
	事業費(支出済額-②報酬合計)	15,548	15,495	15,503	15,222
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	4,472	4,527	3,770	3,758
	職員数(常勤 非常勤)	0.50   0.00	0.50   0.00	0.39   0.00	0.39   0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	4,244	4,282	3,595	3,575
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	228	245	175	183
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	3,171	1,624	1,339	1,439
	①減価償却費	1,639	1,639	1,639	1,481
	②退職給与引当金繰入額	1,532	-15	-300	-42
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他 ( )	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	55.14   420,619	50.92   425,105	48.22   427,501	47.56   429,317	

成果実績	指標名	年間の少年の森利用者数	目標	66,000	単位	人	64,700	単位	人	64,100	単位	人	63,349	単位	人
			実績	64,609	単位	人	64,044	単位	人	58,546	単位	人	55,850	単位	人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由														
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			358.94			337.99			352.07			365.60			

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	平成30年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>園内の建物や遊具の老朽化の進行</li> <li>地権者の高齢化が進んでいるため，今後相続等の理由で用地取得をする事例が増える可能性がある</li> </ul>
	(2) (1)解決のための今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>修繕の優先度や各遊具の度合いの確認について，指定管理者と情報共有を行う。修繕について，より効率的な施工方法を検討し，施設や遊具の長寿命化を図る</li> <li>地権者訪問時に用地買取りの意思について確認を行い，買取りの場合は早急に取得計画を立てる</li> </ul>

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	野外体験を通じた青少年の健全育成を目的に設置された，少年の森の維持管理と利用者の安全性の確保を図ることができた。	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	少年の森は市内でキャンプ等の野外活動を行うことができる唯一の公設施設であり，次世代を担う青少年の健全育成を図るため継続的に維持管理をしていく必要がある。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
11	維持修繕・整備工事等に関すること	無	無	1	1
12	用地管理（賃貸借）の事務に関すること	無	無	1	1
13	用地管理（取得）の事務に関すること	無	無	1	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	子ども青少年部	氏名	村井 みどり	確認日	2019/8/9
----	---------	----	--------	-----	----------



# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	少年の森整備事業費	担当課	部課名	子ども青少年部青少年課		
予算科目コード	会計 01 款 04 項 02 目 03 細目 003 説明 02		課等の長	加藤	電話	3851

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 27 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	青少年健全育成の野外活動施設である藤沢市少年の森の施設環境の整備を進め、駐車場の賃貸借契約を締結し、施設利用者の安全性の確保、快適性の向上を図る。用地取得を行い、事業用地としての継続利用を図る。				
対象	1. 個人 18歳以下の青少年及び青少年育成者 (2019. 3. 1現在)			74,631 人	
根拠法令等	条例 (市) 藤沢市少年の森条例, 藤沢市少年の森条例施行規則				
事業実施内容	施設の安全性の確保, 快適性の向上を図る。 ・園内の草刈り等の管理運営業務 ・園路等修繕 ・駐車場賃貸借料の支払い ・取得予定地の用地測量委託・不動産鑑定業務				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( 指定管理者 : 公益財団法人藤沢市みらい創造財団 ) ( 委託等内容 : 草刈り等の管理運営業務 ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳												
	支出済額	費 目	支出済額 (千円)	主な事業内容										
	3,278 千円	需用費	1,948 千円		園路修繕等									
		役員費	312 千円		不動産鑑定料									
		委託料	443 千円		用地測量委託									
使用料及び賃借料		575 千円		駐車場賃借料										
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳												
	支出済額	費 目	支出済額 (千円)	3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td style="text-align: center;">0.70</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td style="text-align: center;">0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td style="text-align: center;">0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">0.70</td> </tr> </table> ※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員		平成30年度	正規職員等	0.70	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	0.70
		平成30年度												
	正規職員等	0.70												
	再任用短時・任期付短時職員	0.00												
	非常勤職員	0.00												
	合計	0.70												
3,278 千円	分担金・負担金													
	使用料・手数料													
	国庫支出金													
	県支出金													
	その他 ( )													
一般財源		3,278 千円												

## 4. コスト分析

年 度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
コスト	行政費用	A	6,004	8,307	22,477	7,327
	支 出	(1)現金を伴う支出 (千円)	4,472	8,322	19,189	10,023
		事業費(支出済額-②報酬合計)	0	3,795	4,127	3,278
		償還金利息	0	0	0	0
		人件費合計(①+②+③)	4,472	4,527	15,062	6,745
		職員数(常勤 非常勤)	0.50   0.00	0.50   0.00	1.59   0.00	0.70   0.00
		参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
		①職員給与合計(常勤)	4,244	4,282	14,373	6,417
		②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
		③退職金相当額	228	245	689	328
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,532	-15	3,288	-2,696
		①減価償却費	0	0	0	0
		②退職給与引当金繰入額	1,532	-15	3,288	-2,696
		③不納欠損額	0	0	0	0
		④その他 ( )	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		14.27   420,619	19.54   425,105	52.58   427,501	17.07   429,317	

成果実績	指標名	年間の少年の森利用者数	目標	66,000	単位	64,700	単位	64,100	単位	63,349	単位
			実績	64,609	単位	64,044	単位	58,546	単位	55,850	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				92.93		129.71		383.92		131.19	

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	・御所見郷土づくり推進会議から提出された御所見地区のまちづくりに関する提言書や，少年の森に対する要望について継続的に対応していく必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	・要望に対し，指定管理者や御所見市民センターと情報共有を行いながら検討内容を精査，実施していく。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	地域要望であった駐車場の整備を行い駐車可能台数を増やすことができた。その結果，市内外から乗用車で来園された方々や団体利用等による大型バスの駐車場所の確保や，イベント時の近隣への路上駐車への抑制に寄与した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	引き続き御所見地区郷土づくり会議と協力し，施設の維持整備を行っていく。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
11	維持修繕・整備工事等に関すること	無	無	1	1
12	用地管理（賃貸借）の事務に関すること	無	無	1	1
13	用地管理（取得）の事務に関すること	無	無	1	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	子ども青少年部	氏名	村井 みどり	確認日	2019/8/9
----	---------	----	--------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	地域子どもの家等事業費										担当課	部課名	子ども青少年部青少年課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	03	細目	004	説明	01	課等の長	加藤	電話	3851

## 1. 事業概要

事業開始年度	昭和 59 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	地域における子どもたちの安全・安心な居場所、健全育成の場として、地域子どもの家・児童館の施設環境の維持・保全を図る。						
対象	1. 個人	地域子どもの家：小中学生、付添人のいる幼児、青少年団体、児童館：0～18歳の方（幼児は保護者同伴）（2019.3.31現在）			74,631	人	
根拠法令等	法律等	藤沢市地域子どもの家条例、藤沢市児童館条例、児童福祉法					
事業実施内容	地域子どもの家、児童館の施設環境の維持・保全を図る。 ・施設の修繕 ・児童館用地等草刈り ・シロアリ調査						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先：イカリ消毒株式会社)						
	(委託等内容：シロアリ調査業務)						
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( )						
<input type="checkbox"/> その他 ( )							

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 12,570 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		需用費	1,434 千円	施設修繕費
		役務費	489 千円	児童館用地等草刈り業務
		委託料	152 千円	シロアリ調査業務委託
		使用料及び賃借料	10,495 千円	AED, 土地賃借料
財源内訳	H30年度 支出済額 12,570 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ( )				
一般財源	12,570 千円			

### 3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.54
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.54

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
コスト 支出	行政費用 A	46,072	56,500	52,261	52,898
	(1)現金を伴う支出 (千円)	8,166	21,343	18,090	17,773
	事業費(支出済額-②報酬合計)	0	13,066	12,870	12,570
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	8,166	8,277	5,220	5,203
	職員数(常勤 非常勤)	0.95   0.00	0.95   0.00	0.54   0.00	0.54   0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	7,760	7,841	4,978	4,950
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	406	436	242	253
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	37,906	35,157	34,171	35,125
	①減価償却費	35,183	35,183	35,183	35,183
	②退職給与引当金繰入額	2,723	-26	-1,012	-58
	③不納欠損額	0	0	0	0
	④その他 ( )	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	109.53   420,619	132.91   425,105	122.25   427,501	123.21   429,317	

成果実績	指標名	年間の地域子どもの家・児童館 利用者数	目標	462,000	単位	人	467,400	単位	人	507,100	単位	人	483,160	単位	人
			実績	467,357	単位	人	507,023	単位	人	489,336	単位	人	470,018	単位	人
	数値で表せない効果又は上記指標名の 設定ができない理由														
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				98.58			111.43			106.80			112.54		

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	どの施設も老朽化により，台風や荒天の際には雨漏りが発生している。また，木製遊具についても定期的な修繕が必要のため，修繕が間に合わず長期間使用中止の措置をする場合もある。そのため，屋根や外壁等について長期的な修繕計画を策定する必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	修繕の優先度や各遊具の老朽化の度合いについて指定管理者と情報共有を行う。修繕について，より効率的な施工方法を検討し，施設や遊具の長寿命化を図る。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	地域子どもの家17館と児童館5館を整備することにより，地域における子どもたちの安全・安心な居場所を提供し，子どもたちの健全な発達に寄与することができた。	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	地域における子どもたちの安全・安心な居場所として運営するため，継続的に施設修繕等の維持管理を行っていく必要がある。また，地域子どもの家の7館の用地が地権者と賃貸借契約を締結しているため，相続等が発生した場合，用地の購入を検討する必要がある。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
14	維持修繕・整備工事等に関すること	無	無	1	1
15	用地管理（賃貸借）の事務に関すること	無	無	1	1
16	維持管理・設備工事等に関すること	無	無	1	1
17	用地管理（賃貸借）の事務に関すること	無	無	1	1
18	用地取得（取得）の事務に関すること	無	無	1	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	子ども青少年部	氏名	村井 みどり	確認日	2019/8/9
----	---------	----	--------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	地域子どもの家等整備事業費										担当課	部課名	子ども青少年部 青少年課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	03	細目	004	説明	02	課等の長	加藤	電話	3851

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 30 年度	終了(予定)年度	平成 30 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	地域における子どもたちの安全・安心な居場所や健全育成の場として、地域子どもの家等の設備環境の整備を行う。						
対象	1. 個人	地域子どもの家：小中学生、付添人のいる幼児、青少年団体 児童館：0～18歳の方（幼児は保護者同伴）（2019.3.31現在）				74,631	人
根拠法令等	法律等	藤沢市地域子どもの家条例、藤沢市児童館条例、児童福祉法					
事業実施内容	藤沢子どもの家の藤沢市藤沢公民館・労働会館等複合施設への移転及び開設準備						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (指定管理者：公益財団法人藤沢市みらい創造財団) (委託等内容：藤沢子どもの家の管理運営業務) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 4,163 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	2,131 千円	藤沢子どもの家移転に係る消耗品
		役員費	195 千円	藤沢子どもの家移転費用
		委託料	125 千円	藤沢子どもの家管理運営業務
財源内訳	H30年度 支出済額 4,163 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ( )				
一般財源	4,163 千円			

### 3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.41
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.41

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	0	0	0	9,348			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	0	0	0	8,113			
	事業費(支出済額-②報酬合計)				4,163			
	償還金利息				0			
	人件費合計(①+②+③)	0	0	0	3,950			
	職員数(常勤 非常勤)				0.41 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)				3,758			
	②報酬合計(非常勤)				0			
	③退職金相当額				192			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	0	0	0	1,235			
	①減価償却費				0			
	②退職給与引当金繰入額				1,235			
	③不納欠損額				0			
④その他 ( )				0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	0.00	420,619	0.00	425,105	0.00	427,501	21.77	429,317

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		施設の移転のため、目標や実績を設定することが困難なため						
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	特になし
(2) (1)解決のための今後の取組	

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	計画どおり藤沢子どもの家の藤沢市藤沢公民館・労働会館等複合施設への移転を行った。その結果，藤沢子どもの家の施設環境の整備が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	<b>休止・廃止・完了</b>
	当該事業費は藤沢子どもの家の藤沢市藤沢公民館・労働会館等複合施設への移転及び開設準備のための事業費であり，目的を達成したことから完了するもの。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
14	維持修繕・整備工事等に関すること	無	無	1	1
16	維持管理・設備工事等に関すること	無	無	1	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	子ども青少年部	氏名	村井 みどり	確認日	2019/8/9
----	---------	----	--------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	(公財)藤沢市みらい創造財団青少年事業関係費										担当課	部課名	子ども青少年部青少年課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	03	細目	005		説明	01	課等の長	加藤 淳一	電話

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 7 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	青少年の主体性や創造性を育み心豊かに育つための環境づくり等を推進している(公財)藤沢市みらい創造財団へ青少年施設の管理運営と青少年の健全育成事業等を委託する。 ※指定管理期間:平成30~令和4年度まで				
対象	1. 個人	市民			429,317 人
根拠法令等	条例(市)	藤沢市青少年会館条例, 同施行規則, 藤沢市少年の森条例, 同施行規則, 藤沢市地域子どもの家条例, 同施行規則, 藤沢市立児童館条例, 同施行規則			
事業実施内容	(公財)藤沢市みらい創造財団を指定管理者として青少年等の活動拠点である青少年施設の管理運営及び青少年育成事業等を行うとともに、「成人式事業」「親子ふれあいコンサート事業」などを委託した。 ※成人式事業 参加者 2,798人 ※親子ふれあいコンサート事業 参加者 965人				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施				
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先:公益財団法人藤沢市みらい創造財団)				
	(委託等内容:管理運営業務(青少年会館, 児童館, 少年の森, 地域子どもの家, SL広場), 青少年事業委託業務)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (補助金及び負担金:(公財)藤沢市みらい創造財団運営補助金, 少年の森宿泊研修施設負担金)				
<input type="checkbox"/> その他 ( )					

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 334,652 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		委託料	289,170 千円	青少年会館, 児童館, 少年の森, 子どもの家, SL広場, 青少年事業
		使用料および賃借料	73 千円	AED賃借料
		負担金補助および交付金	32,651 千円	少年の森宿泊研修施設運営負担金, (公財)藤沢市みらい創造財団運営補助金
		工事請負費 その他	7,408 千円 5,350 千円	藤沢青少年会館冷温水発生機更新工事 藤沢青少年会館体育室床修繕
財源内訳	H30年度 支出済額 334,652 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	858 千円	
		国庫支出金		
		県支出金	400 千円	
その他(青少年会館整備事業債)	5,500 千円			
一般財源	327,894 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.69
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.69

※正規職員等=正規職員+再任用職員(短時以外)+任期付職員(短時以外)+常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	259,301	267,979	263,320	345,339			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	252,232	263,182	260,578	341,301			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	244,117	251,559	253,908	334,652			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	8,115	11,623	6,670	6,649			
	職員数(常勤 非常勤)	0.85   0.00	1.45   0.00	0.69   0.00	0.69   0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	7,684	11,051	6,361	6,325			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	431	572	309	324			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	7,069	4,797	2,742	4,038			
	①減価償却費	4,176	4,150	4,129	4,113			
	②退職給与引当金繰入額	2,893	647	-1,387	-75			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	616.47	420,619	630.38	425,105	615.95	427,501	804.39	429,317

成果実績	指標名	青少年施設利用者数	目標	440,000	単位	450,000	単位	460,000	単位	470,000	単位
			実績	449,320	単位	478,113	単位	459,922	単位	434,426	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			577.10	560.49	572.53	794.93					

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	施設の老朽化に対応するための修繕計画等の作成及び計画的な修繕の実施と, 緊急修繕等への柔軟な対応。
(2) (1)解決のための今後の取組	市が行う改修と指定管理者が行う修繕の実施について, 緊急性及び修繕規模を考慮して指定管理者と十分な協議・調整等を行う。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	(公財) 藤沢市みらい創造財団へ青少年施設の管理運営と青少年の健全育成事業等を委託し, 青少年の健全育成と施設管理を効率的に実施することができた。	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	地域における青少年の活動場所として, 青少年施設を効率的に管理運営していく。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
7	成人式事業に関すること	無	無	3	3
19	維持修繕・整備工事等に関すること(青少年会館)	無	無	1	1
20	用地管理に関すること(青少年会館)	無	無	1	1
21	SL広場に関すること(委託)	無	無	1	1
26	公益財団法人藤沢市みらい創造財団の運営指導に関する総括に関すること	無	無	1	2
27	公益財団法人藤沢市みらい創造財団青少年事業部の運営指導及び連絡調整に関すること	無	無	1	1
28	指定管理者への委任事務に関すること	無	無	1	1
29	収支状況報告(予算・決算)に関すること	無	無	1	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	子ども青少年部	氏名	村井 みどり	確認日	2019/8/9
----	---------	----	--------	-----	----------



# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	放課後児童健全育成事業費										担当課	部課名	子ども青少年部青少年課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	03	細目	007	説明	01	課等の長	加藤 淳一	電話	3851

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 7 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務		
事業概要	保護者が就労等の理由により、放課後不在となる家庭の児童の健全育成を図るため、放課後児童健全育成事業(児童クラブ事業)を実施するもの。						
対象	1. 個人	保護者が就労等により放課後不在となる家庭の児童(2018.4.1時点)で放課後児童クラブを利用することができる児童の数			約	4,080	人
根拠法令等	法律等	児童福祉法及び子ども・子育て支援法					
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市と協定を締結した運営事業者(公財)藤沢市みらい創造財団, 社会福祉法人, 学校法人)により、放課後児童健全育成事業(児童クラブ事業)を実施した。(計62クラブ)</li> <li>放課後児童クラブの安定的な運営と、より質の高い人材確保に向けて、放課後児童支援員(指導員)の処遇改善事業の実施に向けた協議・調整を行った。</li> </ul>						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (指定管理者: ) (委託等内容: ) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金: 公益財団法人藤沢市みらい創造財団, 社会福祉法人等) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 658,119 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		役務費	476 千円	放課後児童クラブ用地草刈り等費用
		負担金補助及び交付金	657,643 千円	放課後児童健全育成事業負担金
財源内訳	H30年度 支出済額 658,119 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金	144,817 千円	
		県支出金	144,817 千円	
		その他( )		
一般財源	368,485 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.54
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.54

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト 支出	行政費用 A	584,067	665,218	660,215	663,264			
	(1)現金を伴う支出(千円)	583,115	663,070	665,610	663,322			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	570,226	643,405	660,390	658,119			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	12,889	19,665	5,220	5,203			
	職員数(常勤 非常勤)	1.35   0.00	2.10   0.00	0.54   0.00	0.54   0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	12,204	18,576	4,978	4,950			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	685	1,089	242	253			
	(2)現金を伴わない支出(千円)	952	2,148	-5,395	-58			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	952	2,148	-5,395	-58			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他( )	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	1388.59	420,619	1564.83	425,105	1544.36	427,501	1544.93	429,317

成果実績	指標名	児童クラブ年間延べ利用者数	目標	475,000	単位	494,000	単位	493,000	単位	578,000	単位
			実績	494,611	単位	493,809	単位	578,397	単位	586,117	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			1,180.86	1,347.12	1,141.46	1,131.62					

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	・公募により同一小学校区内において複数事業者による運営が行われることで利用者に混乱が生じないよう, 適切な運営指導に努める必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	・運営事業者と連携を図り, 利用者に対して適切な説明を行う。また, 既存事業者による運営方法を引き継ぎながら, 新規事業者のノウハウを活かした運営が図れるよう適切なサポートを行う。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	放課後児童支援員の人材確保とクラブの安定運営のため, 支援員の処遇改善を実施することができた。	
今後の方針	事業の方向性	事業拡大
	藤沢市放課後児童クラブ整備計画に基づく施設整備の進捗に伴い, 新規事業者の参入が続くことが予想される。クラブの安定的な運営と人材確保のための支援を継続的に行っていく必要がある。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
8	放課後児童クラブの運営に関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	子ども青少年部	氏名	村井 みどり	確認日	2019/8/9
----	---------	----	--------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	放課後子ども教室推進事業費										担当課	部課名	子ども青少年部青少年課			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	03	細目	007	説明	02	課等の長	加藤 淳一	電話	3851

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 19 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	国の「放課後子ども総合プラン」に基づき、小学校の余裕教室等を有効活用し、放課後の児童に地域のボランティアが見守る居場所(遊び場)を提供する事業。 ◎日時:原則給食のある平日の放課後。◎場所:実施小学校の余裕教室・体育館・校庭。◎対象:実施小学校区在住の児童。						
対象	1. 個人	事業実施小学校区の児童数 (2018.4.5現在)			1,534	人	
根拠法令等	その他(要綱等)	放課後子ども総合プラン・亀井野, 小糸, 富士見台小学校区放課後子ども教室推進事業に関する実施要綱					
事業実施内容	・小糸小学校区及び亀井野小学校区において放課後子ども教室を実施した。富士見台小学校区においては、平成30年11月から平成31年2月まで、計13回試行実施した。 平成30年度利用児童数 小糸小学校区 1,957人, 亀井野小学校区 7,788人, 富士見台小学校区 653人 ・当事業の拡充に向け、特定の学区を想定し、保護者との意見交換会の実施や学校・教育委員会等と協議・検討を行った。						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: 小糸・亀井野・富士見台小学校区放課後子ども教室推進事業運営委員会) (委託等内容: 放課後子ども教室の運営) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 2,955 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		報償費(経常分)	2,356 千円	見守る人謝礼
		需用費	134 千円	消耗品, 修繕費, 燃料費
		役務費	277 千円	通信費, 保険料等
財源内訳	H30年度 支出済額 2,955 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金	1,485 千円	
その他( )				
一般財源	1,470 千円			

### 3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.80
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.80

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
 ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
コスト 支出	行政費用 A	9,233	10,509	6,744	11,545
	(1)現金を伴う支出 (千円)	7,531	9,851	7,575	10,664
	事業費(支出済額-②報酬合計)	2,757	2,726	2,839	2,955
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	4,774	7,125	4,736	7,709
	職員数(常勤 非常勤)	0.50 0.00	0.80 0.00	0.49 0.00	0.80 0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	4,520	6,744	4,517	7,334
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	254	381	219	375
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,702	658	-831	881
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	1,702	658	-831	881
	③不納欠損額	0	0	0	0
	④その他( )	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	21.95	24.72	15.78	26.89	

成果実績	指標名 年間の延べ利用児童数	目標	7,300	単位 人	7,900	単位 人	9,000	単位 人	9,000	単位 人
		実績	7,904	単位 人	9,012	単位 人	8,577	単位 人	10,398	単位 人
		数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			1,168.14		1,166.11		786.29		1,110.31	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	平成28年度に実施した「藤沢市子どもの居場所に関するアンケート」の結果等から，当事業に対する一定の利用ニーズはあるものの，3校での実施にとどまっている状況にある。当事業の拡大に向けた検討を進める必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	事業の拡充に向け，教育委員会や学校をはじめとした関係機関との連携を図り，諸課題の解決と実施に向けた調整を行う。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	富士見台小学校において，試行を行い次年度の本格実施に向けた課題の把握等ができた。また，小糸小学校，亀井野小学校においては，子どもの居場所が確保された。	
今後の方針	事業の方向性	<b>事業拡大</b>
	事業実施校の拡大に向け，新たに設置した庁内プロジェクトチームにおいて検討を進める。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
10	放課後子ども教室の委託事務に関すること	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	子ども青少年部	氏名	村井 みどり	確認日	2019/8/9
----	---------	----	--------	-----	----------